**雨の日を快適に　ー小さな感動のおすそ分けですー**

今日は雨です。朝から激しく降って、少し止んで、また降って…の繰り返しです。雷予報も出ています。週末も雨予報となっています。テレビでは「梅雨の末期の大雨にご注意ください」と気象予報士の方が言っていました。

そんな雨の日ですが、学校では今日も子ども達が真剣に勉強しています。朝練習をする部活もあり、校内は活気づいています。さらに２、３年生は今日がランチ試食会でした。多くの生徒が注文し、カレーに舌鼓を打っていました。

今日も私は雨に負けないよう、前向きに思考しようと思いネット検索してみました。そうして見つけたのが、以下の雨を楽しむ３つの方法です。

- **シャワーラン**　敢えて雨の日に濡れながらランニングをする。濡れることを楽しむ。雨だから走れないという発想を持たない！
- **雨の日に合う曲を聴く**　雨の日に聴きたくなる曲を選曲し、聴きながら雨を楽しむということです。『雨』で思いつく曲は何でしょう？　私だったら、『アイ　ライク　ショパン（ガゼボ)』『レイン（ビートルズ)』そして昭和の定番『長崎は今日も雨だった』でしょうか。
  優しい雨の降り方であれば、曲を聴くのもいいかと思います。
- **家でゆっくり過ごす**　雨の日は外出しないと決め、家でゆったりと過ごすというのもよいかもしれません。「普段できないことをのんびりやる」とか「敢えて何もしない」というのもいかがでしょうか。

世の中にはいろいろな発想の人がいます。自分が思いつかないことを思いつきます。だから面白いのですね。「みんな違ってみんないい」個性って素敵です。

さて、最後に雨の日のジメジメを吹き飛ばすような小さな感動の話し（素敵な話？）を紹介します。すでにご存じの方もおられるかと思います。

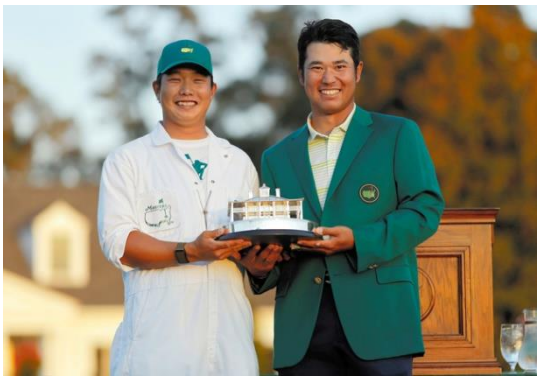
今年の４月、アメリカで行われた男子ゴルフのメジャー大会『マスターズ・トーナメント』で**松山英樹選手**が日本人初、さらにはアジア人初となる優勝を飾りました。今日の話題は優勝直後の出来事です。松山英樹選手が優勝を決めた後、**キャディーの早藤将太さん**がピンフラッグをなおしに行きました。フラッグを立てた後、彼は**帽子を脱いで軽くお辞儀をしました**。早藤さんは「**自然に出た**」と言ったそうです。これがアメリカのメディアでは大々的に取り上げられ、「素晴らしい」と称賛されました。あるメディアは「決して忘れられない　素晴らしく衝撃的な瞬間だった」と報じたそうです。これはネットでも話題になり、早藤さんのインスタグラムのフォロワーは 1200 人から 15000 人へと増えたそうです。周囲からの視線は一変したそうです。しかしそこで早藤さんが言った言葉は…「**自分は変わりたくありません。変わらずにやることが一番難しそうですが、変わらずに**」と言い、これからも**自然体**で松山英樹選手をサポートし続けていくそうです。

いかがでしょうか。早藤さんにとっては「当たり前のことをしただけ」かもしれません。自然に感謝の気持ちが出たのでしょう。日本では、このような『**お辞儀・礼**』という行動が様々な場面で見られます。太宰府西中学校では、部活動生によく見られます。まずは、体育館に出入りする時、グラウンドで練習を始める時と終わる時に見られます。そして試合で対戦する時は、始めと終わりに相手に対して、そして審判に対してもします。応援があれば、応援席にもします。『**感謝を示す**』ことや『**対戦相手を称える**』ことが当たり前のようにできています。

教室での授業のはじめと終わりにも『礼』があります。日常のちょっとした出来事で相手に何か

をしてもらった時も自然と『礼』が出ています。
　太宰府西中学校の日常生活でよく見られる『当たり前』のことですが、周りが気持ちよくなれる習慣は、これからも自然にできるようになるとよいと思います。

**【マスターズ・トーナメントにおける松山英樹選手と早藤将太キャディーの様子】**



☆　ちなみに今日の太西星たちは、雨が降っていなかった昼休みに元気にグラウンドで遊び、５時間目は集中して授業を受けていました。しっかり話を聞いていたり、集中して問題を解いていたり、元気に挙手をしていたりしていました。「金曜日は疲れが溜まってるー」とか思っているのは、どうやら 50 代だけのようです。来週は、太西星に負けないよう、頑張ります！